

安間 亨 議員

鈴木 賢和 議員

### 水素社会の実現に向けて

**問** 水素エネルギーの導入方針と具体的な取り組みは。

**答** 今後、国のエネルギー基本計画や県の地球温暖化対策実行計画が具体的に示され、水素エネルギーの方向性を確認した上で、本市で導入可能な事業を検討していく。

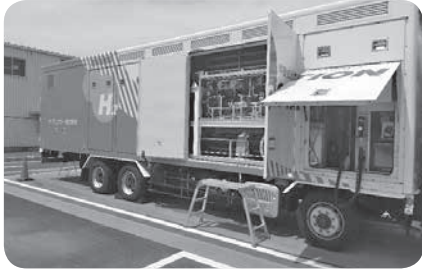
**問** 水素を燃料とする燃料電池自動車（FCV）購入時の補助金制度新設は。

**答** 電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHEV）を新エネルギー機器導入促進奨励金の交付対象としている。FCVへの交付も二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギー自動車であるため、普及の進展状況を見ながら検討していきたい。

### 金融リテラシーの向上へ

**問** 市内小中学校における金融教育の位置付けは。

**答** 金融教育の重要性は増してきている。幼小中の学びを意識し、教科学習と重ねる中で、金融庁のウェブ教材の活用や金融機関と連携した取り組みなどにより理解を深め、子どもたちが社会の中で「生き抜く力」が身に付けられるよう取り組んでいく。



移動式水素ステーション

### 災害時避難行動要支援者計画は

**問** 災害時避難行動要支援者計画（個別計画）の進捗状況は。

**答** 個別計画の策定に当たり、例年6月上旬に身体障害者手帳1級、2級の所持者、療育手帳Aの所持者及び要介護認定3以上の判定者を対象とし、個人情報提供と策定の同意について確認を行う。その上で同意を得た皆さんは、民生委員、児童委員及び自主防災隊長が主体となって個別訪問を行い、緊急時の家族の連絡、避難支援者など、避難誘導時や避難先の留意事項などを記載した個別計画を策定している。令和2年度は、対象者1158人中、策定済が490人である。残りの未策定者は668人で、その内、支援の必要がない方が465人、同意しない方が203人となっている。



地域防災訓練の様子

### 学校現場と教員不足の解消は

**問** 教員の働き方改革を早急にすべきではないか。

**答** 市内全小中学校にスクールサポートスタッフを配置しているほか、単独で部活動指導や引率ができる部活動指導員を、今年度は5名配置した。さらに、勤務時間を「見える化」するために勤怠管理システムを導入した。

### 議案採決の流れ

